

安全関連数値

主な研修・訓練と参加者数（2022年度）

| 実施月 | 名称 | 内容 | 参加者数 |
|------------------|-------------------------|---|-------------------------|
| 5月 | 新任安全衛生委員研修 | 新たに安全衛生委員となった社員向けの研修を実施 | 26名 |
| 5月 | 新入社員研修（対象：高卒・大卒） | 総務・診療所・産業医による働く上での安全や健康管理の研修会 | 46名 |
| － | 自衛消防隊向け研修 | 消防署員による自衛消防隊の機能と役割に関する研修を実施 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため見送り |
| 7月 | 救命講習 | 東京消防庁派遣の講師による救命救急講習会。合格者には救命認定証が授与される | 12名 |
| 7月 | 体験型研修 | （本社）東京都墨田区・本所防災館で「地震」や「消火」「煙」を体験。防災に関する知見と意識を高める | 31名 |
| 9月/3月 | 消防訓練 | 本社ビル勤務者全員による動画視聴 ※年2回 | 1500名/631名 |
| 9月 | イーバックチェア操作訓練 | （本社）各階に設置したイーバックチェア（階段避難車）の操作訓練 ※年2回 | 11名 |
| － | 従業者向け研修 | ・内閣府が作成した南海トラフ地震に関する啓発映像を視聴 ・災害時の交通機関の対応：新橋駅長の講和 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため見送り |
| 11月 | 安全道場 | 凸版印刷が運営する「安全道場」で、現場で起こりうるさまざまな事故の現地体験により職場での事故防止への意識を向上する | 10名 |
| 10月 | 徒歩帰宅訓練 | 災害時を想定し、会社から約10キロ先をゴールとして徒歩で帰宅する訓練を実施 | 16名 |
| 7月/1月 | 大規模地震対応模擬訓練（モック・ディザスター） | 災害時の初動を模擬体験する訓練。主に各拠点の管理・総務部門を対象にオンライン形式にて実施。模擬演習従業者の危機意識醸成と対応能力向上を図る | 110名/80名 |
| － | 実地訓練 | 実際の災害を想定した、本社と各事業所、生産事業所間での情報連携訓練 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため見送り |
| 6月/8月/ 12月/2月 | MCA無線（IP無線）使用訓練 | 災害時に有効な通信手段である無線機を使用した、本社と各事業所、生産事業所間での通報訓練 | 1回 約60人 （グループ会社含む） |

安全関連数値

労働災害関連の数値

| | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|----------|-------|-------|--------|
| 労災による死亡者 | 0名 | 0名 | 0名 |
| 度数率※1 | 0.0% | 0.0% | 0.204% |
| 強度率※2 | 0.0% | 0.0% | 0.002% |

※1 集計期間は暦年（1月～12月）

※2 100万のベ実労働時間当たりの労働災害による休業災害件数で、災害発生の頻度を表す

※3 1,000万のベ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す